

# 情報教育設備室 (RIE) ご案内

神戸大学発達科学部  
大学院人間発達環境学研究科 情報教育設備室 (RIE: Room for Information Education) は、昭和63(1988)年4月に当時の教育学部で開設されました。平成13(2001)年4月からは、学術情報基盤センター/ISTC (当時、総合情報処理センター) の発達科学部分室としての役割も果たすようになりました。

大教室と自習室で構成されています。学術情報基盤センター/ISTC が発行するログインIDの所有者なら誰でも利用することができます。

自習室は、大教室で授業が行われているときなどに利用することができます。発達科学部、大学院人間発達環境学研究科の学生および関係者であれば学術情報基盤センター/ISTC が発行するログインIDを持たない場合でも利用することができるPCも設置しています。

コンピュータの利用は、大学での専門内容の学習あるいは演習のための必然的な手段となります。準備室(F155)には、当室の担当員が常駐して利用者のサポートを行っていますので、遠慮なく相談してください。

## 開室時間

平日(月～金) 8:50 - 18:30

## 所在地

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11  
F棟 158

## 問い合わせ先

Tel. 078-803-7820

## 運営

情報メディア委員会

発達科学部  
人間発達環境学研究科



発達科学部 配置図

F棟1階



## 利用できる環境

### [学生用PC /60台]

・Mac OS X 10.5.8 Leopard  
・Microsoft Office の利用  
やメール, Webコンテンツの閲覧, マルチメディア閲覧・編集, プログラミング, 統計解析などができます。

・CD/DVDドライブ  
(FDドライブは付いていません。必要な場合は、当室の担当員にご相談ください。)

### [分配システム/提示用モニタ]

学生用PCの間にあるモニタは、授業者(教員等)のPC画面を分配して提示するためのもので、授業またはプレゼンテーション環境としては欠かせないものです。

### [その他]

・スキャナ  
・プリンタ(モノクロ)



## 情報メディア委員会より

## 大丈夫? USB メモリ

安価で便利なUSB フラッシュメモリですが、最近これに関するトラブルが増えています。大切なデータを失うことがないように、使い方には注意しましょう。



### よくあるトラブル

1. 突然データが消えてしまった。  
USB メモリは電氣的にデータを記録するので、静電気やちょっとした磁気でデータが消えてしまう場合があります。持ち運びや保管場所に注意しましょう。
2. 一部のデータが読めなくなった。  
あまり知られていませんが、USB メモリには寿命があります。寿命がきたものは、部分的にデータが壊れていきます。寿命はメーカー等によって異なりますが、長いこと使っているものであればあるほど当然リスクは高まります。

### 正しい使い方

- ①作業をするときは、一度データをパソコンにコピーし、そのファイルで作業しましょう。  
→直接USB メモリからデータを読み込んで作業するとメモリに負担がかかり、壊れる可能性も高くなります。
- ②作業が終わったらデータをUSB メモリにコピーし、パソコン本体にもデータを残しておきましょう。  
→あくまでUSB メモリはバックアップ/持ち運び用です。万が一壊れたときのためにも、データはUSB メモリ以外にも保存しておきましょう。

各種メモリカードも同様です!!

